

第14回栃木活性化サロン

テーマ「スタートアップ企業と地域企業との共創について

～新たなイノベーション創出と社会課題解決への挑戦～

◇ゲストスピーカー 栃木県 産業労働観光部
経営支援課 課長 梁木 三恵子 氏

【1.栃木県スタートアップ企業支援に関する指針】

- ✓令和4年に国において「スタートアップ育成5か年計画」が策定されたことを契機に産学官金による「スタートアップ企業支援のあり方検討委員会」を設置。当委員会での意見交換や先進的な取組みを行っている他県への訪問を踏まえ、令和6年3月に栃木県が取り組む必要のある支援や方向性を定める「栃木県スタートアップ企業支援に関する指針」を策定し、スタートアップ企業の新たな創出と規模の拡大に取り組む。
- ✓大都市圏と比べ、栃木県でスタートアップ企業が創出しない状況について、①起業家マインド不足、②交流の機会不足、③情報発信・情報共有不足の3つの課題が挙げられる。
- ✓上記課題を踏まえ栃木県では、①起業家マインドの形成（大学で実施するスタートアップ企業創出に係る取組の後押し等）、②新たなイノベーションを生む交流機会の提供（スタートアップ企業と県内企業の連携促進等）、③創業しやすい環境等の整備（支援策や成功事例等の情報発信の一元化等）の3つの柱を軸に新たな取組みを進めていく。
- ✓各支援機関や教育機関との意見交換の場を設け、各支援機関の支援策を把握し情報提供につなげるほか、栃木県の目指すべき姿や県が取り組むべき支援などについて、点検、検証を行いながら引き続き協議する。

【2.令和6年度スタートアップ企業支援事業について】

✓大学等におけるエコシステム形成支援事業

大学等のスタートアップ企業創出の動きを促進するため、コワーキングスペースの運営に対する助成や学生とスタートアップの起業家との交流等の取組みを助成することにより、研究者や学生の起業家マインドの向上やスタートアップ企業の創出、機運醸成を図る。

✓スタートアップ企業交流イベント開催等事業

県内外のスタートアップ企業、金融機関、投資家、支援者等が集うパネルディスカッション等の交流イベントを開催。県内を代表する大企業とスタートアップ企業とのマッチングのほか、創業間もないスタートアップ企業を応援しようという機運醸成を図る。

✓スタートアップ企業支援事業

①課題解決型人材育成事業（県内でスタートアップ企業の創業を目指す方や創業間もない企業へ基礎講義等を実施）、②スタートアップ企業成長加速支援事業（創業後概ね10年以内のビジネスアイデアが固まっている企業へ専門家による伴走支援を実施）、③潜在スタートアップ企業支援事業（県内に所在する企業・個人事業主等へ専門家による伴走支援を実施し、スタートアップ企業への変革を目指す）等、企業の現状に応じた支援を実施。

✓栃木県女性活躍オフィス立地・拡大補助事業

県内女性の雇用創出に向け、情報通信業やスタートアップ企業等の県内へのオフィス設置・拡大に係る建物賃借料等に対する助成を実施。

✓創業支援資金（スタートアップ支援枠）

スタートアップ企業の創出、規模拡大に向けた取組み支援を目的に、創業予定者や創業後5年未満の者に対し、運転・設備資金として3,500万円を上限に融資を行う。